

女性の化粧行動・意識に関する実態調査 ～スキンケア・メイク篇 2010～

肌あれの状況

ポーラ文化研究所で女性の肌あれに対する意識や実態について09年に引き続き調査を行いました。

- ◆ この1年で肌あれしたと感じた人は、半数以上。
- ◆ 最も多い症状は「肌のカサつき・乾燥」「ニキビ・吹き出物」。
- ◆ 乾燥系の肌あれで「大いに改善したと感じる」が多い項目は「肌のキメが細かくなっている」49%、「ハリがでている」47%、「弾力がでている」46%
- ◆ 脂性系の肌あれで「大いに改善したと感じる」が多い項目は「ニキビの数が減る」47%、「ニキビのしこりがなくなる」46%、「ニキビの腫れがなくなる」46%

【実施概要】

調査名：女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア・メイク篇 2010～

調査時期：2010年5月 調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する15～64歳の女性1500人 ※中学生を除く
（15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～59歳、60～64歳：各150人）

2010年10月13日

ポーラ文化研究所
POLA RESEARCH INSTITUTE OF
BEAUTY & CULTURE

担当：鈴木・金本

調査概要

今回調査【2010年調査 実施概要】

調査名：女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア・メイク篇 2010～

調査時期：2010年5月19日(水)2時開始 5月24日(月)9時回収終了

調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏(埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県)に居住する15～64歳の女性1500人 ※中学生を除く
 (15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、
 55～59歳、60～64歳：各150人)

【対象者プロフィール】

■年齢

15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

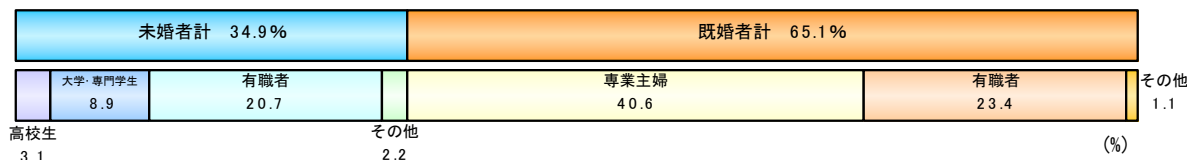
(%)

■居住地

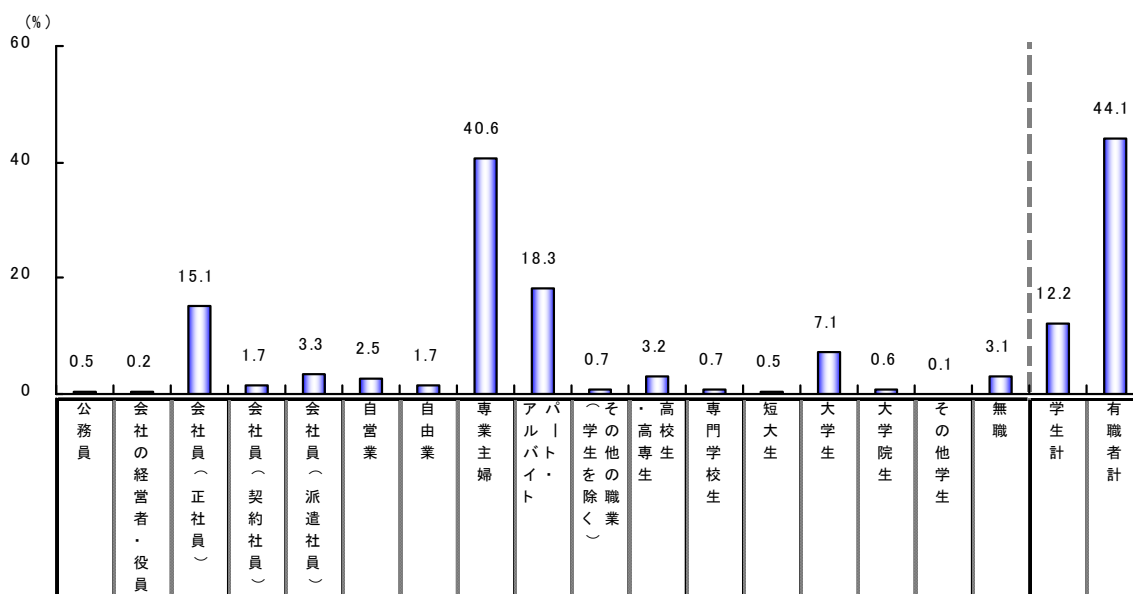
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
18.1	15.7	38.5	27.8

(%)

■未既婚・職業



■職業



(基数:対象者全員 1500人)

1 現在の肌あれ状況と肌あれ程度

◆「この1年で「肌あれ」した」と感じた人は半数以上。「現在「肌あれ」している」と感じている人は2割程度。また、20代後半の3人に1人は現在「肌あれ」していると感じている。

- ・「現在肌あれしている」と感じる人は、20代前半が最も多く4割以上で、10代後半、20代後半が3割と、若年層が多い。
- ・10代後半から30代前半で「この1年で肌あれした」と感じた人は6割～7割だが、40代後半以降では3割～4割程度と減少。
- ・「この1年で肌あれしたことがない」と感じている人の割合は30代後半頃から年を重ねるにつれて増加している。

■Q28. 現在の肌あれ状況(基数:対象者全員 1500人)

年代別	(n)	1年以内肌あれ者					この1年で肌あれした人	肌あれ経験者
		現在「肌あれ」している	現在はないが、この1年間で「肌あれ」したことがある	この1年間では「肌あれ」したことがない	わからない	「肌あれ」したことがない		
全体	(1500)	19.9	33.3	30.0	9.5	7.2	53.3	83.3
15～19歳	(150)	33.3	30.0	13.3	15.3	8.0	63.3	76.7
20～24歳	(150)	44.0	32.0	10.7	8.0	5.3	76.0	86.7
25～29歳	(150)	32.7	34.7	18.0	10.7	4.0	67.3	85.3
30～34歳	(150)	22.0	49.3	20.7	5.3	2.7	71.3	92.0
35～39歳	(150)	15.3	44.0	29.3	8.0	3.3	59.3	88.7
40～44歳	(150)	18.7	36.7	30.0	8.7	6.0	55.3	85.3
45～49歳	(150)	8.7	34.0	41.3	8.0	8.0	42.7	84.0
50～54歳	(150)	9.3	28.0	42.7	13.3	6.7	37.3	80.0
55～59歳	(150)	3.3	24.7	52.0	8.7	11.3	28.0	80.0
60～64歳	(150)	12.0	20.0	42.0	9.3	16.7	32.0	74.0

※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰地(■)で網掛け

◆「この1年で肌あれした」と感じた人は、半数が「やや軽い」肌あれと回答。

- ・20代以下の約3割～4割で肌あれが「ひどい(大いに+ひどい)」と感じており、特に10代後半では「ひどい」と感じる人の割合は4割以上と特に多い。一方、30代以降では、「ひどい」と感じる人は2割以下に減少する。

■Q29. 1年以内の肌あれの程度(基数:1年以内肌あれ者 799人)

年代別	(n)	肌あれの程度				ひどい計	軽い計
		大いにひどい	ひどい	やや軽い	軽い		
全体	(799)	4.5	19.9	49.9	25.7	24.4	75.6
15～19歳	(95)	3.2	37.9	41.1	17.9	41.1	58.9
20～24歳	(114)	12.3	24.6	47.4	15.8	36.8	63.2
25～29歳	(101)	6.9	28.7	47.5	16.8	35.6	64.4
30～34歳	(107)	1.9	15.0	56.1	27.1	16.8	83.2
35～39歳	(89)	3.4	13.5	55.1	28.1	16.9	83.1
40～44歳	(83)	2.4	10.8	56.6	30.1	13.3	86.7
45～49歳	(64)	3.1	17.2	48.4	31.3	20.3	79.7
50～54歳	(56)	3.6	16.1	44.6	35.7	19.6	80.4
55～59歳	(42)	0.0	9.5	50.0	40.5	9.5	90.5
60～64歳	(48)	2.1	10.4	52.1	35.4	12.5	87.5

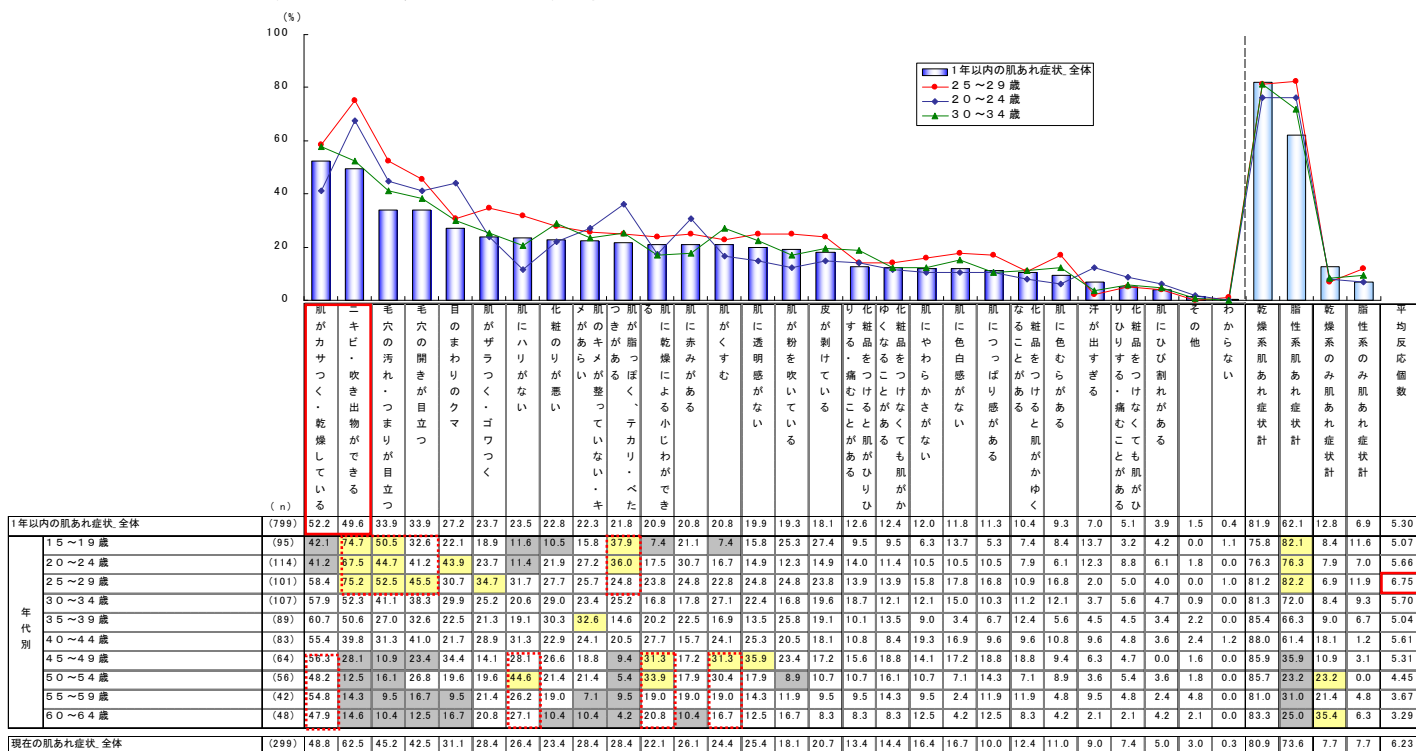
※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰地(■)で網掛け

2 ここ1年の肌あれ症状

◆ 最も多い症状は「肌のカサつき・乾燥」「ニキビ・吹き出物」。他には「毛穴の汚れ・つまり」「毛穴の開き」などの毛穴に関する症状が目立つ。

- ・ 20代後半の肌あれ症状平均個数は6.8個と全年代で最も多く、ほぼ全ての症状が全体のスコアを上回る。
- ・ 20代以下では「ニキビ・吹き出物」「毛穴の汚れ・つまり」「毛穴の開き」「脂肌やテカリ」など毛穴・脂性系の肌あれ症状が目立つが、年齢を重ねるにつれて肌あれと感じる人は少なくなる。
- ・ 45才以上では、「肌のカサつき・乾燥」「乾燥による小じわ」「肌のくすみ」「肌のハリのないさ」など主に乾燥系の肌あれ症状が目立つ。

■ Q30. ここ1年の肌あれ症状(基数:1年以内肌あれ者 799人)



※表の網掛け: n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰地(■)で網かけ

■ Q30. ここ1年の肌あれ症状 各年代別上位5位

年代別	1位	2位	3位	4位	5位
15~19歳	ニキビ・吹き出物ができる 74.7%	毛穴の汚れ・つまりが目立つ 50.5%	肌がかさつく・乾燥している 42.1%	肌が脂っぽく・テカリ・べたつきがある 37.9%	毛穴の開きが目立つ 32.6%
20~24歳	ニキビ・吹き出物ができる 67.5%	毛穴の汚れ・つまりが目立つ 44.7%	目のまわりのクマ 43.9%	肌がかさつく・乾燥している 41.2%	毛穴の開きが目立つ 31.3%
25~29歳	ニキビ・吹き出物ができる 75.2%	肌がかさつく・乾燥している 58.4%	毛穴の汚れ・つまりが目立つ 52.5%	毛穴の開きが目立つ 45.5%	肌がザラつく・ゴワつく 34.7%
30~34歳	肌がかさつく・乾燥している 57.9%	ニキビ・吹き出物ができる 52.3%	毛穴の汚れ・つまりが目立つ 41.1%	毛穴の開きが目立つ 38.3%	目のまわりのクマ 29.9%
35~39歳	肌がかさつく・乾燥している 60.7%	ニキビ・吹き出物ができる 50.6%	毛穴の開きが目立つ 32.6%	肌のキメが整っていない・キメが荒い 30.3%	化粧のりが悪い 30.3%
40~44歳	肌がかさつく・乾燥している 55.4%	毛穴の開きが目立つ 41.0%	ニキビ・吹き出物ができる 39.8%	毛穴の汚れ・つまりが目立つ 31.3%	肌にはりがない 31.3%
45~49歳	肌がかさつく・乾燥している 56.3%	肌に透明感がない 35.9%	目のまわりのクマ 34.4%	肌乾燥による小じわができる 31.3%	肌がくすみ 31.3%
50~54歳	肌がかさつく・乾燥している 48.2%	肌にはりがない 44.6%	肌乾燥による小じわができる 33.9%	肌がくすみ 30.4%	毛穴の開きが目立つ 26.8%
55~59歳	肌がかさつく・乾燥している 54.8%	肌にはりがない 26.2%	肌がザラつく・ゴワつく 21.4%	化粧のりが悪い 19.0%	肌乾燥による小じわができる 19.0%
60~64歳	肌がかさつく・乾燥している 47.9%	肌にはりがない 27.1%	肌がザラつく・ゴワつく 20.8%	目のまわりのクマ 16.7%	肌がくすみ 16.7%



※乾燥系肌あれ症状計: 「肌がかさつく・乾燥している、肌が粉を吹いている、肌にはりがない、肌にはりがない、肌がザラつく・ゴワつく、肌にはりがない、肌にはりがない、肌にはりがない」のいずれかの症状を含んだ回答をした人。

※脂性系肌あれ症状計: 「肌が脂っぽく・テカリ・べたつきがある、毛穴の汚れ・つまりが目立つ、ニキビ・吹き出物ができる」のいずれかの症状を含んだ回答をした人。

※乾燥系のみ肌あれ症状計: 「肌がかさつく・乾燥している、肌が粉を吹いている、肌にはりがない、肌にはりがない、肌がザラつく・ゴワつく、肌にはりがない、肌にはりがない、肌にはりがない」のいずれかの症状を含んだ回答をした人。

※脂性系のみ肌あれ症状計: 「肌が脂っぽく・テカリ・べたつきがある、毛穴の汚れ・つまりが目立つ、ニキビ・吹き出物ができる」のいずれかの症状を含んだ回答をした人。

3 肌あれ改善への程度

◆ 乾燥系の肌あれで「大いに改善したと感じる」が多かったのは、「肌を見たとき、肌のキメが細かくなっている」49%、「肌を触ったとき、ハリがでている」47%、「肌を触ったとき、弾力がでている」46%、次いで「肌を触ったとき、化粧のりがよくなる」45%。

キメ・ハリ・弾力という肌の基本的状態の回復が上位にあがっており、次いで、「ざらざら感」「化粧のり」「粉っぽさ」といった触ったときや見たときの表面の感触があげられている。

・「改善したと感じない」項目で多かったのは「肌の色味」である。

■Q31. 肌あれ改善への程度

(基数:現在の肌あれ症状(Q30)で「肌がカサつく・乾燥している,肌が粉を吹いている,肌にひび割れがある,皮が剥けている,肌がザラつく・ゴワつく,肌にやわらかさがない,肌につっぱり感がある,肌のキメが整っていない・キメがあらい,肌に乾燥による小じわができる,肌にハリがない,毛穴の開きが目立つ」のいずれかの症状を含んだ回答をした人。654人)

	(n)	「大いに改善した」と感じる	「やや改善した」と感じる	改善したと感じない	改善したと感じる計
肌を触ったとき、ざらざらがなくなる	(654)	42.0	43.9	14.1	85.9
肌を見たとき、化粧のりがよくなっている	(654)	44.2	39.3	16.5	83.5
肌を触ったとき、やわらかくなっている	(654)	44.0	39.3	16.7	83.3
肌を触ったとき、化粧のりがよくなる	(654)	45.3	38.1	16.7	83.3
肌を触ったとき、粉っぽさがなくなる	(654)	39.3	43.7	17.0	83.0
肌を見たとき、粉っぽさがなくなる	(654)	41.3	41.3	17.4	82.6
肌を触ったとき、ごわつきがなくなっている	(654)	38.8	43.4	17.7	82.3
肌を見たとき、ざらざら感がなくなる	(654)	41.3	41.0	17.7	82.3
肌を見たとき、肌のキメが細かくなっている	(654)	48.5	32.9	18.7	81.3
皮むけが治る	(654)	40.1	40.4	19.6	80.4
肌を触ったとき、つっぱり感がなくなる	(654)	33.3	46.5	20.2	79.8
肌を触ったとき、弾力がでている	(654)	46.3	33.5	20.2	79.8
つっぱり感が軽減する	(654)	27.4	52.4	20.2	79.8
肌を触ったとき、ハリがでている	(654)	47.2	32.4	20.3	79.7
肌の痛み・ヒリヒリするのが解消する	(654)	35.3	43.7	20.9	79.1
肌を見たとき、ハリがでている	(654)	44.6	34.3	21.1	78.9
肌を見たとき、肌のつっぱり感がなくなる	(654)	33.6	45.0	21.4	78.6
肌の凹凸感がなくなる	(654)	41.7	36.1	22.2	77.8
かゆみが治る	(654)	35.8	42.0	22.2	77.8
ひびわれが治る	(654)	37.8	39.9	22.3	77.7
肌のくすみ(黒味)がなくなる	(654)	36.7	40.2	23.1	76.9
化粧品をつけたときの肌の痛み・ヒリヒリするのが解消する	(654)	33.8	43.1	23.1	76.9
肌を見たとき、血色がよくなっている	(654)	35.2	40.2	24.6	75.4
髪や指が肌に触れたときに感じる刺激が軽減する	(654)	28.0	47.4	24.6	75.4
肌の赤みがなくなる	(654)	31.8	43.3	24.9	75.1
表情を変えた(顔の筋肉を動かした)ときのつっぱり感が解消する	(654)	29.5	45.0	25.5	74.5
表情を変えた(顔の筋肉を動かした)ときのゴワゴワ感が解消する	(654)	30.1	44.0	25.8	74.2
肌の黄味がなくなる	(654)	23.7	42.0	34.3	65.7
肌の青みがなくなる	(654)	21.6	40.5	37.9	62.1

(%)

3 肌あれ改善への程度

◆ 脂性系の肌あれで「大いに改善したと感じる」が多かったのは、「ニキビの数がへる」47%、「ニキビのしこりがなくなる」46%、「肌を見たとき、ニキビの腫れがなくなる」46%と、「ニキビ」の改善項目が上位を占めている。

・「改善したと感じない」項目が多かったのも「ニキビの痛みが治る」など「ニキビ」の症状に対してである。

■Q32. 肌あれ改善への程度

(基数:現在の肌あれ症状(Q30)で「肌が脂っぽく、テカリ・べたつきがある,毛穴の汚れ・つまりが目立つ,ニキビ・吹き出物ができる」のいずれかの症状を含んだ回答をした人。496人)

	(n)	「大いに改善した」と感じる	「やや改善した」と感じる	改善したと感じない	改善したと感じる計
ニキビの腫れがなくなる	(496)	39.9	43.1	16.9	83.1
ニキビの数がへる	(496)	46.6	36.1	17.3	82.7
ニキビの赤みがなくなる	(496)	42.9	39.3	17.7	82.3
肌を見たとき、ニキビの腫れがなくなる	(496)	45.6	36.7	17.7	82.3
肌を触ったときしっとりする	(496)	42.5	39.5	17.9	82.1
肌を触ったとき、ざらざらがなくなる	(496)	40.9	40.9	18.1	81.9
肌を触ったとき、化粧のりがよくなる	(496)	42.7	39.1	18.1	81.9
肌を触ったとき、肌の凹凸感がなくなる	(496)	45.2	36.1	18.8	81.3
ニキビのしこりがなくなる	(496)	45.8	35.3	19.0	81.0
ニキビの大きさが小さくなる	(496)	33.3	46.8	20.0	80.0
肌を触ったときの脂っぽさがなくなる	(496)	37.3	42.1	20.6	79.4
肌を見たとき、化粧のりがよくなる	(496)	40.7	38.3	21.0	79.0
肌を触ったとき、粉っぽさがなくなる	(496)	37.1	41.5	21.4	78.6
肌を見たとき、凹凸感がなくなる	(496)	41.7	36.9	21.4	78.6
ニキビの痛みがなくなる	(496)	33.1	45.2	21.8	78.2
ヒリヒリするのが解消する	(496)	29.4	48.8	21.8	78.2
肌をみたとき、脂っぽさがなくなる	(496)	36.7	41.1	22.2	77.8
肌をみたとき、テカリがなくなる	(496)	37.5	40.1	22.4	77.6
肌を見たとき、ざらざら感がなくなる	(496)	36.9	40.3	22.8	77.2
かゆみが治る	(496)	31.0	46.2	22.8	77.2
ニキビの白っぽさがなくなる	(496)	34.5	42.3	23.2	76.8
肌を見たとき、ニキビの皮むけが治る	(496)	33.1	43.5	23.4	76.6
ニキビの黒っぽさがなくなる	(496)	34.5	41.5	24.0	76.0
ニキビの熱っぽさがなくなる	(496)	29.6	44.2	26.2	73.8
化粧品をつけたときのニキビの痛みが治る	(496)	27.6	44.8	27.6	72.4

(%)

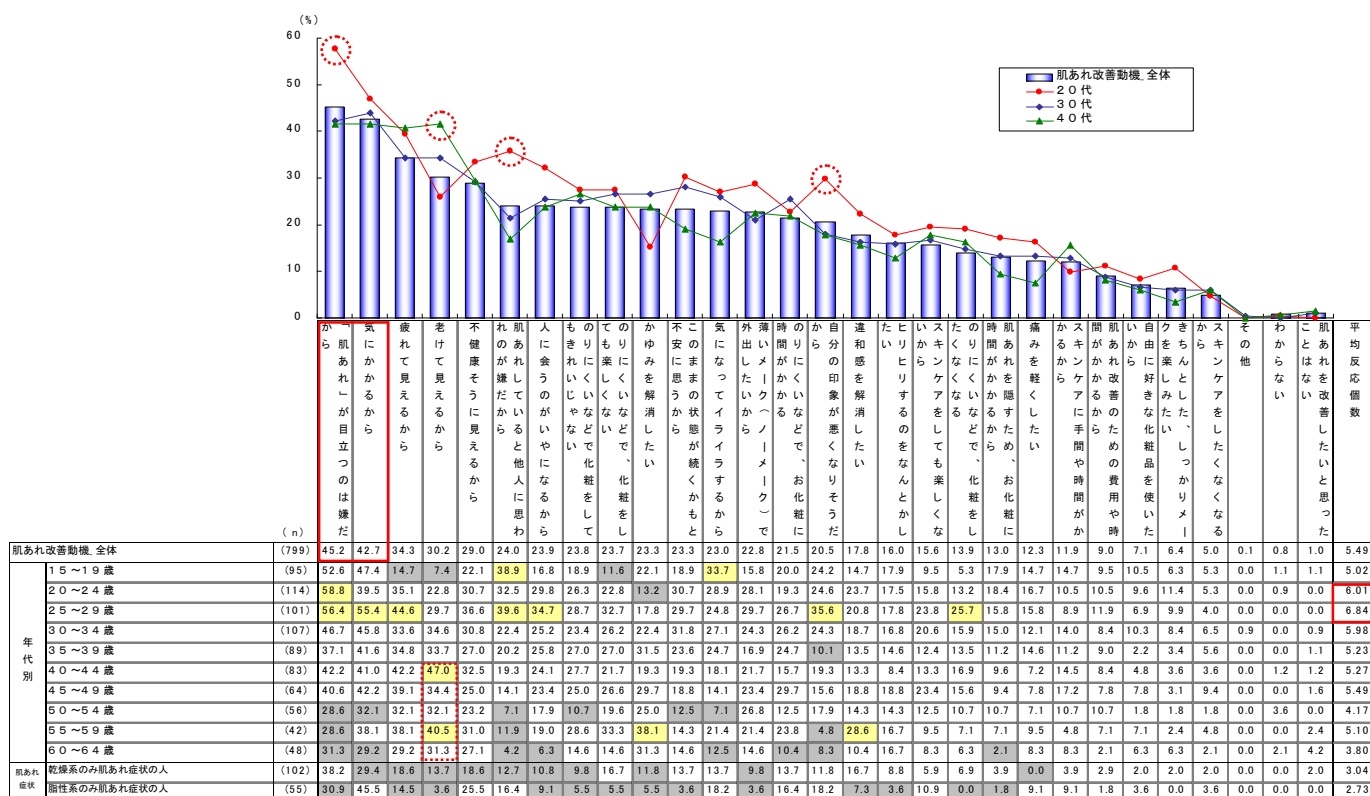
4 肌あれ改善への動機

◆ 肌あれ改善への動機は、4割以上が「肌あれが目立つのが嫌だ」「気にかかるから」が上位。

「疲れて見える」「老けて見える」など、外見による悪い印象の改善への動機が次いでいる。

- 20代の改善動機の平均個数は6個以上で、他年代にくらべ改善意欲が高い。また、20代は「肌あれが目立つのは嫌だ」「肌あれと他人に思われるのが嫌」「印象が悪くなりそう」などが目立って高い。
- 40代以上では「老けて見えるから」が高く、エイジング意識の反映がうかがえる。
- 「不健康そうに見える」は年代に関係なく高い。

■ Q33. 肌あれ改善への動機(基数:1年以内肌あれ者 799人)



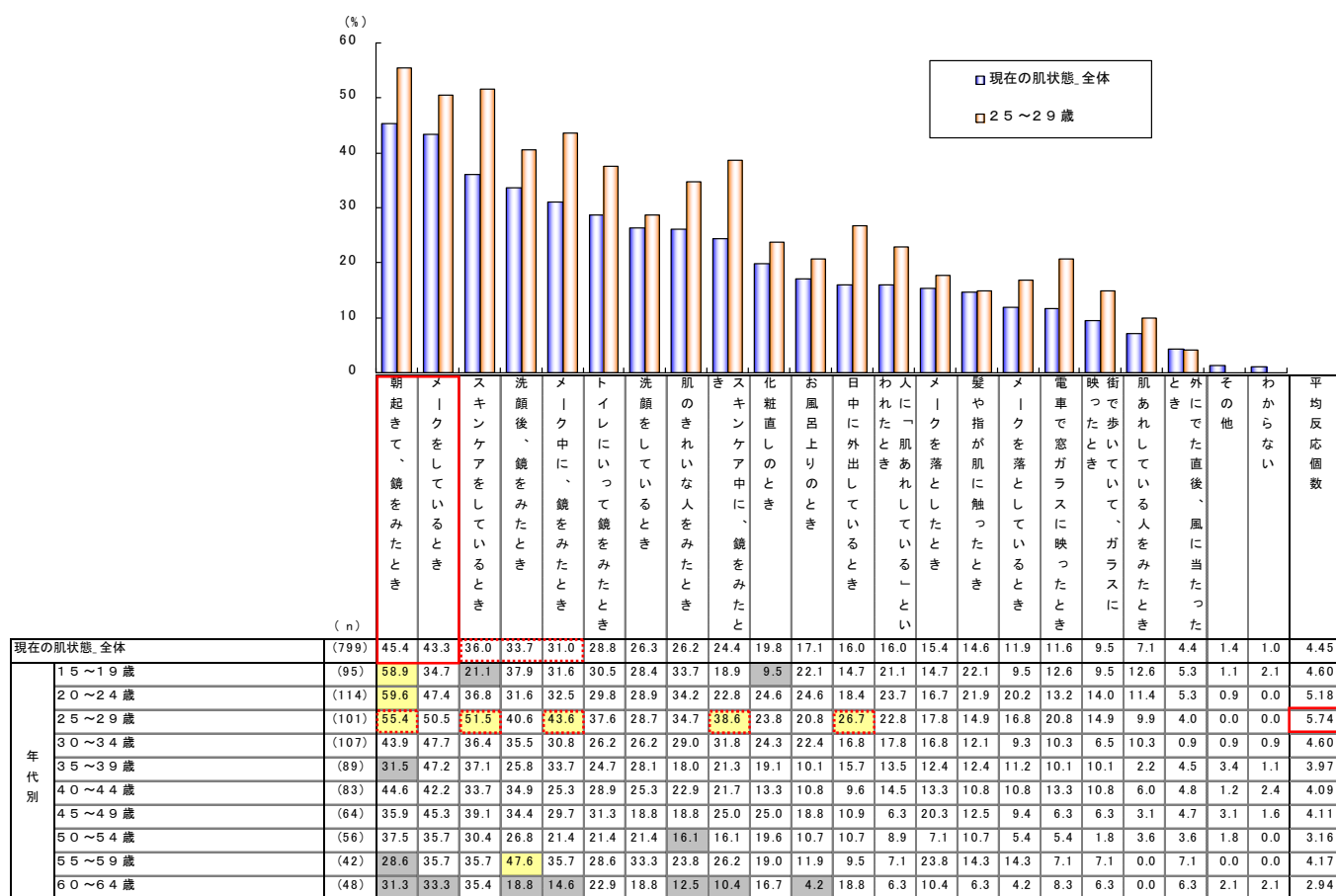
※表の網掛け: n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰地(■)で網かけ

5 肌あれを感じるとき

◆「朝起きて、鏡をみたとき」「メイクをしているとき」が最も肌あれを感じる時。
他には「スキンケアをしているとき」「洗顔後、鏡を見たとき」「メイク中に、鏡を見たとき」など、自分で直接肌の状態を確認できる機会が多い。

- 20代後半の肌あれを感じる時の平均個数は5.7個と全年代で最も肌あれを気にする年代。
特に「朝起きて、鏡をみたとき」「スキンケアをしているとき」「メイク中に鏡をみたとき」「スキンケア中に鏡をみたとき」「日中外出しているとき」などは、全体とくらべ目立って高い。

■Q34. 肌あれを感じる時(基数:1年以内肌あれ者 799人)



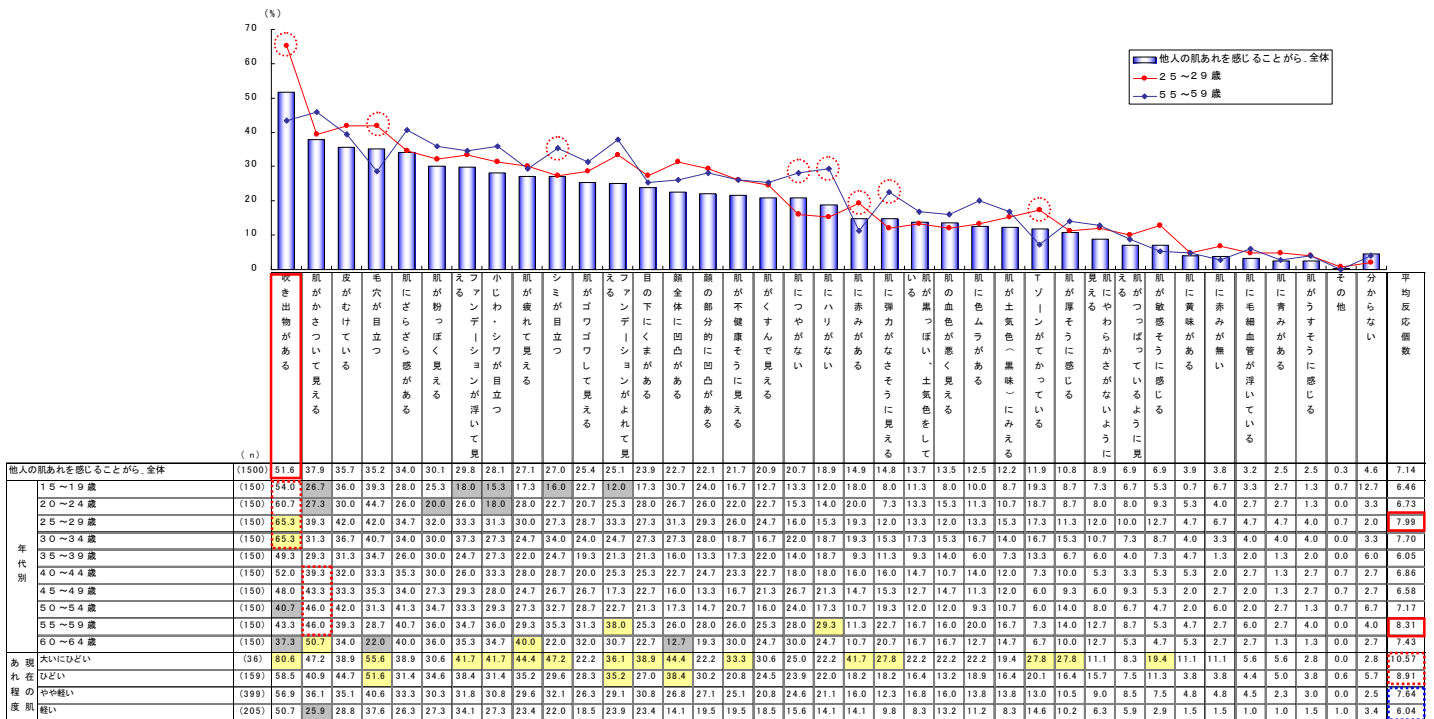
※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰地(■)で網かけ

6 他人の肌あれを感じることから

◆ 最も多い「吹き出物」は、全体の半数以上。他に「肌のかさつき」「皮がむけている」「毛穴が目立つ」「肌のざらざら感がある」などが上位。

- ・ 20代後半と50代後半の他人の肌あれを感じることから平均個数は8個前後で他年代にくらべ特に多く、他人の肌あれが特に気になる年代。それぞれをくらべると、20代後半は「吹き出物」「毛穴が目立つ」「肌の赤み」「Tゾーンのかさつき」など、主に脂性肌の特有の症状が気になる傾向なのに対し、50代後半は「シミ」「つやのなさ」「ハリのなさ」「弾力のなさ」といったエイジングともなう症状が特に気になる。また、20代後半は自分の肌あれだけでなく、他人の肌あれも気になる人が多い。(※前項参照)
- ・ 全体で最も多かった「吹き出物」は、特に30代以下で特に気になる症状。「肌のかさつき」は40代後半以上で気になる症状として目立つ
- ・ 現在の肌あれ症状別では、肌あれがひどい人ほど他人に対してでも肌あれを気にする傾向がみられた。

■ Q35. 他人の肌あれを感じることから (基数: 対象者全員 1500人)



※表の網掛け: n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰地(■)で網かけ

■ Q35. 他人の肌あれを感じることから 各年代別上位5位

